

2019年2月25日

中野区長 酒井直人 様

公益社団法人 日本建築家協会(JIA)
関東甲信越支部 中野地域会
代表 小西敏正

旧豊多摩刑務所（旧中野刑務所）正門の現地保存についての御礼

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から当協会の活動に格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝いたしております。

さて、当協会から保存要望書を提出してございました表記建造物の現地保存の決定が、区議会の委員会で区から報告されました。このことにつき、区長ほか区の各位におかれての多大のご配慮とご尽力があったと拝察し、厚く御礼申し上げる次第です。

類い希にして夭折した建築家 後藤慶二の唯一の現存作品ともいえるこの正門は、小規模ながら細部に至るまで設計者の細やかな配慮が込められている、わが国における煉瓦建築の中で最も高い水準を有している作品です。加えて外観のバランスの取れた造形的な価値とともに日本の近代史を語る上で重要な歴史的価値も有する、まさに中野区が全国に誇る貴重な文化財の一つといえます。

今後、この建造物を中野区の文化財にご指定頂いた上、東京都の文化財の指定を取ることもご尽力頂きたいと切に願っております。また、隣接します平和の森小学校の計画に対しても何らかの寄与があるように計らって頂ければと考えております。

なお私ども、当建造物の活用はもちろん、隣接して建ちます平和の森小学校の、この文化財との相互関連を考えた計画についても、公益社団法人としてできるかぎり、お力になりたいと考える次第です。

敬具